

月刊 桜井シュウ

三ツ星議員★★★★

Report on Political Activities No.180

物価対策は物価を抑えるところから！

まずガソリン減税を実現！

「台湾有事」発言は何が問題か？

桜井シュウは議員連盟でもリーダーシップを発揮！

桜井 周（さくらい しゅう）

【学歴】 美鈴月影幼稚園、鈴原小、南中、県立伊丹高、京都大、京都大院修士、ブラウン大院修士

【職歴】 国際協力銀行勤務、市議会議員（2期）、衆議院議員（3期目）、弁理士、行政書士

【家族】 妻、長女、次女、犬（トイプードル）



桜井シュウはSDGs基本法案を
作成し国会に提出！



2025年

12

月号

物価対策は物価を抑えるところから！

物価対策の2類型

- ①事前対策：物価上昇率が2%を超えないように抑える政策。
（例）金融政策、貿易赤字解消など
- ②事後対応：上がってしまった物価高の悪影響を緩和する政策。
（例）お米券、ガソリン減税、電気代補助金、給付金など

物価対策には、「事前対策」と「事後対応」の大きく2つに分けられます。

物価が上がってしまったので、事後対応は必要ですが、やりすぎると物価そのものを引き上げてしまいます。例えば、お米券はもらおうとありがたいですが、米不足が続く中で皆さんがお米券で米を買い求めればお米の値段は上がります。物価対策で物価を引き上げてしまえば、効果が相殺されてしまいムダになります。だからこ

そ、物価そのものを抑える事前対策が必要です。

今般の物価上昇の最大の要因は「悪い円安」です。安倍内閣の経済政策「アベノミクス」を理論面から支えた浜田宏一エール大学名誉教授は「日本経済の最大の問題はインフレ（物価高）の放置だ。物価の番人である日銀は利上げをためらうのか。円安も是正されず、日本人は輸入品を高く買わされる一方、外国人が「安い日本」を買いたたいている状況は見過ごせない。国民を苦しめ、国家の基盤を揺るがす事態だ。」と発言。桜井シュウは、金融政策とともに円売り需要を減らす政策を進めます。

→詳しくはYouTube「桜井シュウちゃんねる」をご覧ください！

まずガソリン減税を実現！

迅速な物価高対策として立憲民主党はガソリン税の暫定税率の廃止法案を国会に提案してきました。今年6月には衆議院では可決した

ものの、参議院で自民党の反対で審議未了。臨時国会でようやく成立させました。12月末に25.1円/ℓのガソリン減税が実現します。

「台湾有事」発言は何が問題か？

「存立危機事態」と言われても良く分かりないと思いますが、要するに、日本が攻撃を受けていないのに戦争に参加する理由になる、ということです。戦争に突入するかもしれない、日本は反撃を受けてウクライナで起きているような惨事が日本でも起きるかもしれない、戦後80年の平和が壊れるかもしれない、極めて重大な判断です。

もちろん、中国の駐大阪総領事の発言など中国政府の反応は過剰のように思えます。ですが、過去の事例に鑑みて、中国政府が過剰に反応することは予想できたことです。中国の過剰反応に対して、日本も過剰反応することが我が国の国益に叶うとは思えません。東アジアの安全保障環境が厳しさを増す中だからこそ、冷静な分析・行動が必要です。

衆議院予算委員会 11月7日(金)

岡田元外相

「日本の艦船が攻撃を受ければ・・・存立危機事態の問題ではなく武力攻撃事態ということになる」「存立危機事態ということになれば日本も武力行使することになりますから、それは当然その反撃も受ける」「きわめて厳しい状況が国民にもたらされる」「(存立危機事態が)軽々しく述べられることは極めて問題だと思うんですが、総理いかがですか？」

高市総理

「例えば、台湾を完全に中国北京政府の支配下に置くようなことのためにどういう手段を使うか。それは単なるシーレーンの封鎖であるかもしれないし、武力行使であるかもしれないし、それから偽情報、サイバープロパガンダであるかもしれないし、それは色々なケースが考えられると思いますよ。だけれども、それが戦艦を使って、そして武力の行使も伴うものであれば、これはどう考えても存立危機事態になりえるケースであると私は考えます。」

2015年の安全保障関連10法案の一つ「事態対処法」の2条では「武力攻撃事態：武力攻撃が発生した事態又は武力攻撃が発生する明白な危険が切迫していると認められるに至った事態をいう」「存立危機事態：我が国と密接な関係にある他国に対する武力攻撃が発生し、これにより我が国の存立が脅かされ、国民の生命、自由及び幸福追求の権利が根底から覆され

る明白な危険がある事態をいう」と定義されています。

すなわち、日本が攻撃を受ければ「武力攻撃事態」として個別自衛権を発動して反撃します。日本が攻撃を受けていなくても、同盟国(アメリカ)が攻撃を受け、かつ日本の存立が脅かされる等の場合には「存立危機事態」として日本が戦争を始められることになってしまいます。

ポイント1 台湾有事を質問したのはなぜか？

高市議員は、2024年9月の自民党総裁選の際に、中国による台湾の海上封鎖が発生した場合を問われて、存立危機事態になるかもしれない、と発言しました。これでは、集団的自衛権の歯止めがなくなったようにも理解できます。そこで、岡田元外相は高市総理に政府見解の変更

の有無などを質問しました。岡田元外相が「軽々しく言うべきでない」と繰り返し発言したのに、高市総理が言ってしまった、というのが今回の経緯です。なお、2021年12月の予算委員会で高市議員が取り上げたように、台湾有事に関する質問はこれまで何度も出ています。

ポイント② 政府見解を変更したのか？

台湾をめぐる安全保障問題については「台湾をめぐる問題が対話によって平和的に解決されることを期待するのが日本政府の立場」が政府見解であり、手の内を明かさないために存立危機事態の具体例を示さないのが政府方針でした。例えば、2021年12月13日の衆議院予算委員会で高市議員が岸田内閣の閣僚に対して「台湾有事は日本有事という安倍元総理の見

解について、安全保障の観点から正しい認識だとお考えになりますか？」と質問しましたが、岸防衛大臣と林外務大臣は上記の雛型通りの答弁でした。

今回の高市総理の答弁は、言い過ぎはあったにせよ、その後に行われた党首討論などを踏まえれば政府見解を変更する意図はなかったものと受け止めます。

ポイント③ 総理大臣の発言は重い！

中国政府にとって台湾問題は「核心的利益」であり、それに触れる大臣発言には反発する一方で、一議員の持論の展開は放置してきました。安倍元総理も麻生元総理も総理在任中は持論を封印し、退任後に持論を展開していま

す。高市議員は、これまでも台湾有事が存立危機事態になりうる、との持論を述べてきましたが、総理でなければ問題視されませんでした。しかし、総理大臣に就任した以上は、発言の重みと外交の機微を踏まえて発言すべきです。

ポイント④ 存立危機事態にあたるのか？

存立危機事態の要件の一つに、同盟国への攻撃されたとき、があります。台湾は国ではない（日本政府は中華民国台湾を国家承認していない）ですし、同盟関係にもありませんので、台湾が攻撃がなされても存立危機事態にはあたりませ

ん。台湾有事が存立危機事態に当てはまるには、台湾有事に関与したアメリカ軍が攻撃を受けた場合ですが、高市総理はアメリカ軍について言及していません。この答弁の内容であれば、存立危機事態にはあたらないと解するべきです。

ポイント⑤ アメリカはどう見ているか？

アメリカ政府は台湾有事への対応として曖昧戦略をとってきました。トランプ大統領は就任直後から中国に対して関税政策などで強硬でしたが、10月以降は関係改善に方針転換

した模様です。アメリカ軍が台湾有事に関与する可能性を他国（日本）に勝手に言及されることはアメリカ政府にとって不愉快である可能性があります。

桜井シュウの考え

高市総理の答弁に端を発したものですので、高市総理が自ら事態を收拾すべきと考えます。その上で、桜井シュウができることとして、台湾海峡問題について従来の日本政府の見解である「対話により平和的に解決されることを期待する」という発信を政府・与野党から繰り返すこと、中国側との対話を継続することと考えています。

対話の前提として、台湾海峡兩岸において言論の自由が必要です。東アジア、さらにはインド太平洋地域において、言論の自由など人権、民主主義、法の支配を広めることが地域の平和と繁栄の基礎となると考え、桜井シュウは超党派議員連盟を立ち上げて事務局長として活動しています（裏面参照）。

桜井シュウは議員連盟でもリーダーシップを発揮!

国会では、政策テーマ毎に与野党の枠を超えて議員が集って政策を立案するための議員連盟が数多くあります。桜井シュウは、議員連盟に加入するだけでなく、役員を任されることが増えてまいりました。

日本EU友好議員連盟 事務局長、政治分野における女性活躍推進議員連盟 事務局長、インド太平洋普遍的価値推進議員連盟 事務局長、人権

外交議員連盟 事務局次長、日本ノルウェー友好議員連盟 幹事長代理、日韓友好議員連盟 幹事などを務めています。特に、インド太平洋普遍的価値推進議員連盟についてはアメリカ下院議会において連携の決議(H.Res.653)を受けています。与野党、さらには各国議員との連携しつつ、世界平和の実現に力を尽くします。

2026年 春季議員インターンシップ(第30期)を募集!

若者に政治への関心を持ってもらうため、桜井シュウは毎年、大学の春休みと夏休みに議員インターンシップを実施しています。今夏は10名の学生が参加しました。来春(2月～3月)も議員インターンシップを実施しますので、意欲ある若者の参加をお待ちしています!



【案内】青空対話集会

1月25日、2月22日に開催!

(毎月第4日曜日に開催、12月は年末につき休止)

11:00～12:00

阪急宝塚駅 西側 ゆめ広場

14:00～15:00

川西能勢口駅 アステ川西デッキ

16:00～17:00

阪急伊丹駅 北側ロータリー

(屋外での集会ですので、雨天の場合には中止します。)

三ツ星議員★★★★とは

活動量の多い国会議員に与えられる称号です。政策を評価するNPOが、全ての国会議員について、①議員立法の提案、②本会議・委員会での質問数・質問時間、③質問主意書の提出数などに基づいて評価するものです。桜井シュウは6回表彰を受けました。

衆議院議員・立憲民主党兵庫県第6区総支部長

桜井 シュウ

〒664-0858 伊丹市西台5-1-11

TEL▶072-768-9260

FAX▶072-768-9261

e-mail▶sakraishu.office@gmail.com

URL▶https://www.sakraishu.net



桜井シュウの政治活動へのご協力をお願い

●ポスティング

伊丹市・宝塚市・川西市の各ご家庭に配布しております。ご近所周辺など可能な範囲・枚数だけで結構ですので、ご協力をお願い致します。

●ポスター掲示

ご自宅の塀・外壁、駐車場のフェンスなどに桜井シュウのポスターを貼って下さい。またご近所に人通りが多く、ポスターを掲示していただけた場所がありましたらご紹介下さい。

●政治献金

一人でも多くの方に国政報告をお届けするために、カンパをお願い致します。お振込みいただく場合は、恐れ入りますが手数料のご負担をお願い致します。

(※個人献金ができるのは日本国籍を持つ方に限られます。)

■お振込先:

三井住友銀行 伊丹支店 普通4719556「桜井周後援会」
ゆうちょ銀行 00970-8-332979「周山会」

ご意見・ご相談、お気軽にご連絡下さい!

※直接書き込んで(別の様式でも可)ファックスやメールで送り下さい。

お名前▶

お電話番号▶

ご意見▶